

地域課題の解決を目指して

～平成16年度地区懇談会～

10月12日(火)、登別温泉公民館で、登別温泉地区連合町内会と市による地区懇談会が開かれ、『平成16年度地区懇談会』がスタートしました。

地区懇談会は、住環境の改善や地区の活性化、地区が抱える課題などについて、地区連合町内会から提出されたテーマについて役員のみなさんと市長以下市の幹部職員が懇談を行うとともに、市の主要施策や計画などの情報提供が行われるもので、毎年開催されています。

今年は登別温泉公民館での開催を皮切りに、11月下旬まで、市内9会場で合計23件のテーマについて、各地区連合町内会と市が意見を交換する予定です。

なお、市からは、『市の財政状況』『市民と行政の協働のまちづくり』などの情報が提供されます。



スポーツの楽しさと健康の大切さを実感

～市民スポーツ・健康フェスティバル～

9月19日(日)、岡志別の森運動公園と市民プールで『市民スポーツ・健康フェスティバル』（市、文化・スポーツ振興財団主催）が開かれました。

今年は、新しい市民プールのオープンを機に、『市民スポーツフェスティバル』と『のぼりべつ市民健康まつり』が合同で開催され、スポーツや健康増進のコーナーなどに多くの市民が参加しました。

晴れ渡った秋空の下、岡志別の森運動公園では、市民ソフトボール大会や駅伝競走大会、キンボール大会などが行われ、参加者は家族や友人の声援を受けながら心地よい汗を流しました。

また、市民プールでは、水中運動教室、水中フラッグ競争、体力測定、健康相談が行われたほか、日本工学院北海道専門学校しん灸科の学生による『リラクゼーションルーム』も設けられ、市民の関心を集めていました。



▲キンボールを楽しむ子どもたち

幸恵の生き方、生きた時代を学ぶ

～知里幸恵フォーラム'04 in 登別～

9月18日(土)、知里幸恵フォーラム'04 in 登別『自由の天地の原風景に集う』が市内で開かれました。

このフォーラムは、知里森舎が登別出身で『アイヌ神謡集』を書き残し19歳の若さで亡くなった知里幸恵の命日に合わせ、毎年開催しているものです。

この日は、午前『アイヌ語地名散策』が行われ、参加者はバスで幸恵と祖母のモナシノウクが住んでいた河畔沿いや幸恵の生地、知里真志保の碑などを訪ねました。

午後からは市内のホテルを会場に、吉田ルイ子さん（室蘭出身のフォト・ジャーナリスト）の講演『知里幸恵さんの生き方』と、吉田さんと小野有五さん（北大大学院教授、知里幸恵記念館建設募金委員会発起人）による対談が行われ、参加者は差別に遭いながらも懸命に生き抜いた幸恵の生き方や功績などに耳を傾け、登別が生んだ誇るべきアイヌの女性に思いをはせていました。



▲吉田ルイ子さんの講演『知里幸恵さんの生き方』